

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上飯田地域ケアプラザは上飯田地区、いちょう団地地区、上飯田団地地区の3地区を担当しています。3地区に共通する課題として地域の方々が高齢によって外出機会が減少し、地域活動の参加者が減少することが予測されます。また地域活動の担い手の高齢化によって活動の継続が難しくなることも予測されます。体力が低下しても可能な限り地域とのつながり、地域の活動に関心を持ってもらい、新たな担い手を発掘していけるよう支援していきます。ケアプラザとして地域のサロンなどの活動の後方支援やお祭りへの出店など地域活動への協力をはじめ、外出困難な方への社会参加のために、近隣福祉施設と連携して地域での移動支援サービス体制の構築に力を入れていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	男性の地域活動の参加促進を目指し、男性の料理教室を年6回開催します。また、昨年度、男性の料理教室に参加されたメンバーを対象に、男性の料理教室OB会を年6回開催します。
<input type="checkbox"/>	■	○泉区内の包括と協力しながら、年1回は、区全体でニーズを調査します。 ○事業所訪問、または電話等で、気軽に相談できる関係性を築きます。 ○困難事例に対しては、これまで通り3職種でケアマネへの相談支援を行っていきます。
<input type="checkbox"/>	■	地域活動が円滑に運営できるよう担い手のスキルアップや情報交換会を実施します。また新しい担い手の育成支援を行っていきます。
<input type="checkbox"/>	■	CPエリア内にある2つの福祉施設と連携・協議の場を不定期で開催していきます。 ○現在地区内で活動中の2つの高齢者食事会を中心に地域活動団体への「移動支援サービス」実施していきます。 ○地区内に現存する2つの福祉施設と連携・協力し、「移動支援サービス」をサポートしていきます。
<input type="checkbox"/>	■	住民に向けて成年後見制度の理解、高齢者が消費被害に逢わないよう講座を開催します。また、早期発見の為関係機関との情報共有、連絡会への参加をしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・男性の地域活動の参加促進を目指し、男性の料理教室OB会を年6回開催しました。新規で2名の方が参加し、現在登録は7名。うち一人は外国から来たばかりの人で、日本語の練習、地域での関係作りを目的に参加されています。
- ・地域のサロンや体操教室等に講師を派遣し活動支援を行いました。また、担い手および新しい担い手の育成支援としてボランティア研修を実施し同時に情報交換の場となっています
- ・相談者への対応を丁寧に行っています。離れた地域には出向いたり訪問をおこないました。
- ・また、事業については地域のサロンなどにお知らせなどをしながら、勉強会や講座の開催をし、高齢者の支援包括の啓発に努めました。

区からのコメント

(地域活動交流)  
 ・男性の地域活動への参加促進については、OB会という形で今年度も料理教室を開催するなど、工夫して継続できています。  
 ・今年度は5職種会議をできるだけ全員が揃う形で毎月開催することができました。

(地域包括支援センター)  
 ・介護予防普及啓発強化事業を通じ、多くの活動がその後自主化しています。これは、包括支援センターの効果的な支援によるものです。個別ケース支援においても、民生委員、ケアマネジャー、郵便局、また新しい資源であるLSA(生活援助員派遣事業)等とも連携し、丁寧な支援ができています。  
 ・各事業の実施や個別ケース支援により、様々な課題が見えていると思います。課題に対するアプローチを、区としても一緒に検討していきたいと思えます。

(生活支援体制整備事業)  
 ・移動支援サービスについては、社福法人との連携が深まり、移動困難者に対する支援の仕組みづくりを積極的に行っています。高齢者のみならず、多世代にわたる移動困難な事例に対応し、活動が広がっています。  
 ・移動困難者支援以外の課題に対しても、移動支援サービスの検討の中で構築された関係性を活かし、検討が進むことを期待しています。